

後藤一宏

スタインウェイ・ジャパン株式会社  
代表取締役社長

全国津々浦々のピアノの先生方が、  
すばらしい才能を育てています。  
本選での再会が楽しみです。

## 第1回 スタインウェイ・コンクール in Japan もうすぐ本選！

取材・文：荒木淑子  
写真：岡本 央

スタインウェイ&サンズ社がヨーロッパ各地で開催している、5歳から16歳までの子どもを対象にした「スタインウェイ・コンクール」。そのコンクールが初めて日本でも開催され、昨年の地区審査会を通過した24人（6会場・4つの年齢カテゴリー）が、4月1日の本選（東京）に臨む。優勝者1名はドイツ・ハンブルクへ招待され、ほかの国の優勝者たちとともにガラ・コンサートで演奏できるという特典付きのピアノ・コンクール。主催者のスタインウェイ・ジャパン株式会社の代表取締役社長・後藤一宏さんと、コミュニケーション・マネージャーの秋田文子さんにお話をうかがった。

——「スタインウェイ・コンクール in Japan」、初めての地区審査会はいかがでしたか？

後藤 大変だろうなとは思っていたのですが、やっぱり大変でした（笑）。インターネットで公募したのですが、初開催のうえに課題曲がないのでレベルもわからない…。はたして何人が応募してくれるのかと、はじめは心配しましたが、最終的には全国6カ所の地区審査会に400人の子どもたちが参加してくれました。

秋田 やはり初回ということで、様子見のピアノの先生方も多かったように思います。

後藤 このコンクールには、ワールド・スタンダードであるスタインウェイピアノに子どものうちから親しんでもらい、演奏する機会を提供しようという目的があります。ですから、地区審査会は全国各地のスタインウェイ・ディーラーのホール（スペース）で行いました。参加者のなかにはコンクール前にホールを借りて、自主的にスタインウェイピアノで練習する方もいらっしゃいました。

秋田 先生がお弟子さんたちを連れてきて、みんなで弾き合うということもあったようですね。

後藤 ただ、コンクール（の優勝）に向けて邁進するだけではダメですよ。いま日本には若い優秀なピアニストは多いですが、国際コンクールで必ずしも優勝するとは限らない。正確に弾くとか、先生に教わったとおりに演奏することはできても、「自分を表現する」ことは苦手なのかもしれません。個性が感じられる、自発的な演奏ができるようになることが必要なのだと思います。

地区審査会では全地区とも同じ項目について審査していただいたのですが、そのなかで「演奏の正確さ」に関する項目は1項目のみ、全体の一部に過ぎません。「こんな審査方法は経験したことがない」と、審査をお願いした地元のピアノの先生方には驚かれましたが、終わってみれば、審査結果は全員が納得できるものでした。

さらに、子どもたちにはピアノを弾く楽しさを体験してほしいので、コンクールらしくないこといっぱいやりました（笑）。まず、演奏の前後にお辞儀をし、それに対して客

席からは拍手をしてもらおう。演奏を始めたら持ち時間が多少オーバーしても演奏を止めさせない。「コンクールで最後まで弾けるのは珍しい」と言われました。

ある地区では、ピアノを始めたのが遅く、ピアニストになるつもりはないけれど熱心に練習しているというお子さんが1位になって、本人は素直に喜んでいるのに、ご両親のほうがびっくりしていたり。また、ある地区ではワーグナー（リスト編曲）《イゾルデの愛の死》を弾いた子どもがいたり。そんな選曲、とても子どものコンクール向きとは思えないでしょう（笑）。課題曲がないので、選曲の幅が広いんです。

秋田 私もすべての地区審査会で聴かせていただいたんですけど、小さい子どもは一生懸命、他人を意識しないで弾くんですね。感動した演奏がいっぱいありました。

後藤 なかには「鳴るならば 鳴らしてしまおう ほととぎす」みたいな人もいましたけど、その一方で、小さいながらもホールで響く自分の音をよく聴いて、自分の耳で修正しながら演奏できる子どももいました。きっと日頃から聴くことを大切にしているレッスンを受けているんでしょうね。

参加者の演奏レベルは予想がつかなかったのですが、掛け持ちで別のコンクールを受けた子どもがどちらでも1位になるなど、地区審査会の入賞者たちはレベルが高かったと思



後藤社長（右）と秋田さん（左）

います。

——本選も課題曲はなく、各年齢カテゴリーとも、古典派・ロマン派・20世紀の楽曲のなかから、地区審査会で弾いた曲とは異なる1～2曲を演奏するのですね。

後藤 そうです。いいでしょう（笑）。本選の審査はスタインウェイピアノをよく識るピアニストお二人方と音楽評論家の方にお願ひし、地区審査会のような項目は設けず、すべて3人の先生方にお任せしています。

地区審査会でわかったことは、全国津々浦々にすばらしい先生がいらして、すばらしい才能を育てていらっしゃる、ということ。このコンクールで「天才」を発掘しようとは思っていませんが、大人になってアマチュアでもピアノを楽しむ方が増えるといいですね。本選では子どもたちがどんな曲を選んで演奏してくれるのか、いまから楽しみにしています。

#### 第1回スタインウェイ・コンクールin Japan ～本選～

〔日時〕 2012年4月1日（日）11:00 開演  
〔会場〕 王子ホール（東京・中央区銀座）  
〔審査員〕 50音順に、神谷郁代（ピアニスト・元京都市立芸術大学教授）、田部京子（ピアニスト・上野学園大学教授）、寺西基之（音楽評論家）  
〔入場料〕 2,500円（全席自由）  
〔主催・問合せ〕 スタインウェイ・ジャパン  
TEL.03・5251・6553  
<http://www.steinway.co.jp>